

農政連だより

# みどりの風

Noseiren Dayori Midori no Kaze

3 月号 No.231

発行／熊本県農業者政治連盟

JA 熊本県会館内 熊本市南千反畑町2-3  
電話 096-328-1284  
編集責任者 木村 幸孝  
発行／毎月1回 15日発行  
平成9年7月4日第三種郵便物許可



三角西港（宇城市：写真提供 熊本県）

近代国家の威信をかけた明治三大築港のひとつである。明治政府から派遣されたオランダ人ムルドルが設計、現在も当時の石積埠頭や水路などがそのまま残っており国重要文化財に指定されている。

## 主な内容

- ・石破農水大臣へ本県農業への取組み要請
- ・畜産・酪農対策全国代表者集会
- ・日本農民栄誉賞の贈呈
- ・ガンバッテいます：西富大二郎さん  
フレッシュミズ植木支部
- ・各連合会からのお知らせ

や  
や  
ら  
ら  
い  
い

三月三日、東京地検特捜部は、民主党小沢代表の公設第一秘書、西松建設前社長及び元総務部長を逮捕した。

これは、準大手ゼネコンの「西松建設」（東京都）のOBが設立した「新政治問題研究会」「未来産業研究会」等のダミーの政治団体を通じ、小沢代表の資金管理団体「陸山会」が、二千百万円の政治献金を受領し、政治資金収支報告書に虚偽の記載をしたとの疑いである。そしてこの資金管理団体の事務局長をしていたのが、公設第一秘書である。

麻生政権の支持率が10%台で低迷し、衆議院の解散・総選挙も取りざたされる中での、逮捕である。民主党では、総選挙を前にした小沢代表秘書の逮捕は、明らかな「国策捜査」とまで言われている。

小沢代表は、記者会見で「なんらやましいこととは無い」と、違法性を否認し、代表辞任も考えがないことを表明した。しかしながら、これで、説明責任を十分に果たしたとは言いがたい。

この他に、「西松建設」は、銀行のATMから実在の社員や家族60名の無断使用の名義で、二階経済産業相が代表を務める政党支部口座に、毎年300万円を振り込んでいたことが発覚している。

更に平成十六年から十八年に、このダミー団体は、自民党の国会議員や自治体首長及び派閥等のパーティ券購入が2千万円を越え、この中でも二階経産相分が突出しており、特捜部は、違反する行為がなかったか捜査に着手したとも言われている。

これまで、何度も「政治と金の問題」が事件となり、そのたびに、国民の政治不信は高まってきた。

今後、捜査の展開を見守りながらも、今度こそ、健全で安心できる政治を取り戻したいものである。

# 石破農水大臣に 要請

JAグループを代表して、園田俊宏JA熊本中央会会長が石破農水大臣に本県農業の政策について要請した。

2月13日、熊本市内で石破茂農林水産大臣との懇談会が自民党熊本県支部の主催で開催され、農用地の減少、自給率、WTOなどについて意見交換を行った。

席上、園田俊宏JA熊本中央会会長が、担い手の急速な高齢化の中、JAグループ挙げて「食料・農業・農村基本法」の理念にもとづき、安全・安心な農産物の提供はもとより、地域農業の振興や構造改革に



全力を挙げて取組んでいます  
が、農業・農村は大変な苦境  
にたたさされている。  
つきましては、本県の実情  
を十分にご推察の上、左記事  
項について早急に取組まれる  
よう石破茂農林水産大臣に要  
請した。

## 要 請 事 項

### 1. 水田農業政策について

○ 水田農業政策の抜本的見直しについて

水田農業政策の抜本的見直しが検討されているが、計画生産に基づく価格の安定及び水田フル活用を基本とした中で、再生産可能な農業所得安定確保対策の充実強化を図ること。

○ 自給率向上作物の生産性拡大対策の実施について

国内の農業資源を最大限に活用し、生産調整の実効性確保を基本に、麦・大豆や飼料用米、米粉用米等の自給率向上作物を増産させる仕組みを確立し、生産性拡大への取り組みを強化すること。

○ 国内備蓄米の確保について  
我国の食料安全保障の観点

から、稲作生産と農家経営の安定化を図るためにも国民的なコンセンサスの下に適正水準の食料備蓄を行うこと。

### 2. 農業における経営安定対策等の確立について

原油等生産資材の急激な高騰による生産コストの上昇に對しては、コスト上昇分に直接対応するセーフティネット対策等、再生産可能な品目別の経営安定対策を早急に確立すること。

### 3. 多様な担い手の育成・確保対策の実施について

地域の農業振興と集落の維



持・発展を図るために、個別経営はもとより、集落営農組織や農業法人等の多様な担い手を育成・支援強化するとともに、関係機関が一体となり多様な担い手の機能を発揮できる体制整備を図ること。

#### 4. 農地流動化対策の充実

優良農地の確保、農地の面的集積等農地の最大限かつ効率的に活用する仕組みや、耕作放棄地の解消等農地の保全・流動化等については、国、行政が責任をもって対策を講じる必要がある。

特に中山間地等条件不利地域においては、国土・環境保全の観点からも考慮し、保全管理等の措置を講じること。

#### 5. 十分な農業予算の確保

食料の安定供給を基本に、農業の持続的発展と多面的機能の発揮のためには、農業振興と農村の活性化が不可欠である。

しかしながら、農業関係予算は平成12年3兆4,279億円をピークに減少し、21年度農業予算(案)は、2兆5,695億円と一般会計予算88兆5,605億円の3%にも満たない現状となっている。

ついで世界的な食料逼迫の現状の中で、食料安全保障の観点からも、十分な農業予算を確保すること。

## 平成21年度畜産・酪農対策 全国代表者集会開催される

2月27日、東京都内で全国農業者・JA代表者等700名を集め、平成21年度畜産・酪農対策全国代表者集会を開催した。



これまでの飼料価格の高騰により畜産・酪農経営の負担が蓄積しており、配合価格が短期的に下落しても長中期には経営体力の悪化、生産基盤の弱体化が大きく懸念される。このため生産者が将来を展望でき、経営の安定と生産基盤の維持・拡大ができる畜産・酪農政策の実現が必要になっている。

よって平成21年度畜産・酪農政策価格・関連対策に関する要請実現のため、全国の農業者の総意を結集するJAグループ代表者等による全国代表者集会を開催した。

また、これに先立ち鹿児島、宮崎、熊本の三県JAグループは26日、黒毛和種の各種事業の充実を柱に、今回をはじめ南九州三県合同要請集会を開いた。

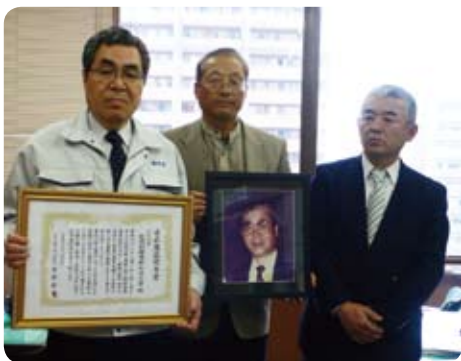
穀物価格の高止まりや生産性向上のための設備投資の増大等により、生産コストが構造的に上昇している。また、畜産物の価格は消費不振等により大幅に下落しており、我国の畜産・酪農生産者の経営を著しく圧迫している。

## 日本農民栄誉賞を贈呈

日本農業を守る会が、故松岡利勝農相に初代受賞として「日本農民栄誉賞」を贈呈。

県青壮年部OBで構成する「日本農業を守る会」が初代受賞として、農林水産大臣を務めた故松岡利勝衆議院議員に、18年に亘って日本農業のために尽力した功績を讃え、「日本農民栄誉賞」を贈った。

当日は、同会の古荘則幸会長が県JA会館を訪れ県農業者政治連盟へ「日本農業の基盤を支えた最高の政治家であり、功績を讃えたい」と賞状を手渡した。



▲右端が古荘則幸会長（県農政連事務所にて）

# JAくま青壮年部活動報告

JAくま青壮年部は、水上、湯前、多良木、あさぎり、錦、相良、山江、人吉、球磨村の9支部より構成され、税所部長のもと盟友577名で活動しています。

JAくま青壮年部部長税所昭彦です。

JAくま青壮年部は知恵を出し合い、先頭に立って行動します。



## 「食の安全・安心パレード」

私たちJAくま青壮年部は、農業そして地域の担い手として、誇り高き青年の情熱を持ち、率先して農業の活性化と食料自給率の向上に重要な役割を果たすとともに、食農教育の強化など消費者に働きかけることを通じ、その実現に向け努力している。そのことを消費者に理解が広まるようにパレードを行った。



## 青壮年部大会

平成20年度青壮年部大会を9月30日に開催。出席者約170名。税所部長より「盟友の主張を聞いてパワーをもらい、明日につなげていきたい。」とあいさつ。盟友の主張では、7人が農業や経営に対する考え、今後の目標などを発表。

- ・盟友の主張最優秀賞 鶴本誠二さん「妻と共に あのハチドリのように」
- ・看板コンクール最優秀賞 あさぎり支部「日本の宝物」
- ・青年の歌「君と」コンクール最優秀賞 上原・愛甲（多良木支部）



## 看板コンクール「地上賞」受賞

9月30日の青壮年大会において、最優秀賞を受賞したあさぎり支部の「日本の宝」が、平成20年度「JA青年組織手づくり看板全国コンクール」において、「地上賞」を受賞。2月17、18日に開催されたJA全国青年大会において表彰。



## JA役員・青壮年部・女性部との意見交換会

意見交換の場を作ることで、JAと青壮年部・女性部との連携をより深めることと、現場の意見や問題をより詳細に認識し共有することで、JAをより良き方向へ導くために毎年開催している。今回は各専門委員会委員長にも出席いただいた。



## 学童農園

食農教育推進の一環として、JAくま女性部と連携をとり、子供たちに田植え・稲刈りという一連の米づくり、またその他の農産物作りを通じ、農産物への感謝・興味・安全性を学ぶことを目的に取り組んでいる。



## 食料・農業に対する理解促進運動

「農畜産物の価格低迷」や「農業生産コスト上昇」などの、農業の経営危機を消費者に理解してもらうことを目的として、1000枚のチラシを配り、「食と農を守ろう！」「国産で安心な食生活を！」と書かれた横断幕を掲げ、「食料自給の大切さ」や「食の安全性」などを訴えた。



## JAくま青壮年部支部長は愛妻家

1月29日支部長・事務局合同会議終了後、愛妻を交えての新年会を開催。本年4月の役員任期満了に伴い、青壮年部活動を広き心を持って支えて頂いた愛妻へ、感謝の気持ちを込めて、「愛しているよ」の一声と花束を贈呈。



西富大二郎さん  
JA熊本市



●**農業に魅力**  
熊本市は、熊本城の本丸御殿の修復を皮切りに、「一口城主制」や「清正公ゆるキャラ」と熊本城は上げ潮。

一方、特産品では、みかん、メロン、ナスなどが有名です。

西富さんは、昭和44年12月に生まれ、京都教育大学教育学部を卒業。

家が専業農家であり、農業に魅力を感じたので帰郷して、農業に取り組みました。

現在、水稲2.4ha、麦0.0ha、大豆3.3haを栽培しており、JA熊本市に出荷しています。また、父は、野菜栽培に精を出しており、それぞれの農業を目指しています。

●**優良種子の栽培**

JA経済連米穀産産部内にある、熊本県主要農作物改良協会の指定を受けて、稲は「ヒノヒカリ」、「秋の色」、麦は「シロガネコムギ」、大豆は「フクユタカ」の優良種子の栽培にも

取り組んでいます。

「最近、天候不順や病害などから、種子の生産が不安定であり、種子の発芽の良否、不良な種子、異品種が混入しないように気を使っています」と話されました。

●**大豆を活かして納豆を**

大豆栽培は、2、3年以上連作すると、病虫害の発生や土壌の養分供給力の低下により、減収となります。

そこで麦とのローテーションにより対応。

特に、虫害は困ったもので、コトウ虫、カメムシ等に対して8月頃の開花期以降、数回の散布を行います。

「最近、母が、発酵させる機械を購入して、手塩にかけて栽培した大豆を使って納豆を作り始め、店頭販売を始めたところ、好調な売れ行きで、先が楽しみです」と思わず頬が緩みます。

●**規模拡大と加工品に挑戦**

麦、大豆の生産は、資材高騰等で厳しい経営状況にあり、国の政策対応がなければやっていけません。

「現状の栽培規模では、さらに厳しい状況が予想されるので、麦、大豆の栽培規模を拡大して、経営の安定を図っていききたい。特に大豆、麦をやることから、加工品作りにも力を入れ、納豆や味噌作り、さらに野菜も含めた直売事業を視野に入れています。」と生産規模拡大や、農産品の販売力を高める経営に、意欲を見せる西富さんです。

JA 鹿本フレッシュミズ  
植木支部のみなさん



今回は、JA鹿本フレッシュミズ植木支部の数名に取材しました。生活指導員の高宗さんにも参加いただき、たくさんのお意見をいただきました。

●**初めての農業**

このフレッシュミズ部会は、前田和代さんを中心に、8名で構成され、そのうち6名が就農されています。しかし、結婚するまで農業を経験したことのないばかりでした。農業についてどう感じているのでしょうか。

「農業を手伝い始めた時は、なんでも新鮮に映りました。ハウスに入れること、野菜がどうやって育ち、どんな風に実っているのかを知ることができました。」

その他にも夫や子供と一緒に、作業できることが楽しいとの意見も。

「今では、作業の要領が分かり始め、一人で作業が増えました。気楽な部分もあります。が、目の前の仕事だけでなく、次の作業のことも考えてしまうので、今のほうが大変だと感じます。」

●**フレッシュミズ部会の活動状況**

主な活動として、廃油石けん作りを行って

います。すでに10年以上続いている活動で、四月から七月に掛けて制作。出来た石けんは、植木管内のJA支店に置いてもらったり、他、植木町で8月に開催の「はっぴー祭」で販売しました。そこでは石けんだけでなく、手作りのビーズアクセサリーも販売し好評でした。

12月には、親子自由参加のクリスマス会を開催。料理やお菓子を各自持ち寄って、親子で盛り上がりました。

●**みんなの憩いの場として**

毎月大体一回を定例として、打合せを行います。計画を立てることの他にも、お互いの悩み、不安の相談をしゃべったり、一緒に連れできた子供達の遊び場にもなったり。フレッシュミズの集まりは、程よい憩いの場にもなっているようです。

●**今後の抱負**

「新規の部員を増やすこと。そして活動を広げること。でも、無理せず、和気あいあいとやっていきたい。」

また、生活指導員の高宗さんも、「農業に関わる女性にとって、フレッシュミズはとても良いフレッシュの場。そして、親子で交流を続ける事が出来る。これからも活動を続けたいので、部員増員のための企画を考え中です。」とのことでした。

人数は少なくても、皆様の生き生きとした姿と、指導員の高宗さんの熱意が印象的でした。

前列左から前田さん、小佐井さん、高永さん。後列左から、宮崎さん、楠本さん、上村さん、松本さん。部員のうち片山さんはお休みとのこと。

浦島熊本県知事、香港で初の県産物PR

熊本県とJAグループ熊本で構成する熊本県農畜産物輸出促進協議会は2月5日から8日までの4日間、香港で県産農畜産物の宣伝活動を展開しました。

今回は初めて浦島郁夫県知事も同行、JA関係では県酪連の吉田孝壽会長、JAたまなの城内孝義組合長、JA熊本経済連の武部満専務、JA熊本中央会の江誠一郎常務が参加、総数15人による本格的なトップセールスとなりました。

香港で販売している県産物は、イチゴ（ひのしずく）、ミカン、甘藷等の他、牛乳、デコポンプリン等の加工品等。

一行は、現地政府関係者や貿易有公司、大手量販店を積極的表敬訪問した他、7日には、大手量販店のYATAI、UNY、香港SOGO等でPRしました。

初めて海外で店頭PRを行った浦島知事は、言葉の分らない外国の消費者に緊張した面持ちで「とても



▲香港の消費者にPRする浦島知事

美味しい熊本県の「ひのしずく」というイチゴです。食べてみてください。」と呼び掛けました。受け取った消費者は「とても甘く美味しいですね。」と答えていました。

同協議会では、これを機に今後も香港、台湾、タイ・シンガポール等本格的に販売促進を展開する予定です。

水田フル活用等で米政策改革学ぶ

熊本県・JA中央会・経済連等で構成する熊本県水田農業推進協議会は2月19日、熊本市で「米政策改革研修会」を開き、県内のJA、行政関係の担当者ら約300人が出席しました。

関係団体を対象に、米の生産調整に係る取組みや、米政策改革に係る各対策の内容及び、事務処理について理解を深めることを目的に、実施したものです。

まず主催者として、熊本県農林水産部の麻生秀則農産課長と中央会・連合会営農生活センターの高濱頼光センター長が「飼料用米・米粉用米等の作付けで耕作放棄地をなくし、水田フル活用を目指していきたい」と挨拶。

研修では、①米・麦・大豆を巡る情勢について②水田等有効活用促進交付金について③水田農業構造改革対策について④耕畜連携水田活用対策について⑤水田最大活用推進緊急対策について⑥集荷円滑化対策についてを学びました。

県統一ブランドマーク決定

JAグループ熊本は3月2日、熊本市で、県統一ブランドマークを発表しました。出荷に伴う段ボール箱などに採用し、熊本県産農畜産物の全国的な販売促進の強化につなげていきます。これまではJA品目ごとにマークがあつたが、「熊本は一つ」との合言葉の下で、統一マークを作りました。

上村幸男JA熊本経済連会長は記者会見で「熊本農業の新たな旗印となる統一マークの下に、生産者・組合員、JA組織が結集し、産地活性化につなげたい」と強調。園田中央会会長は「農家手取りを最大限にする努力をした」と決意を込めました。



▲左から園田中央会会長、最優秀賞の佐藤幸雄さん、上村経済連会長、星加選考部会長（崇城大学准教授）

統一マークは約2000点の応募の中から、東京都在住の佐藤幸雄さん（60）の作品を選びました。併せて、マーク入りのTシャツなどの関連グッズも作成しました。

具体的な生産・販売戦略や、イメージアップ対策は現在検討中だが、品目ごとに統一ブランドの基準、自主運営ルールを決め、首都圏を中心に県産農畜産物の販売を強化していきます。

特にポイントになる園芸部門では、JAグループ熊本が昨年立ち上げた、青果物コントロールセンターを中心に、熊本がトップシェアを持つ主要品目の計画的な販売、統一的な価格交渉を、統一マークをこれにして強力に進めていく方針です。



▲県統一ブランドマーク

今持つなら 頼れる一枚 安全・お得・便利なJAカードです

「JAならではのクレジットカード!」

JAバンクでは、組合員・利用者の皆様に、より一層の安心・便利をご提供するため、JAならではのクレジットカード「JAカード」をご用意しております。

また、ICキャッシュカード機能とクレジットカード機能が1枚になった、より安全で便利な「JAカード（一体型）」もご用意しております。

多彩なサービス満載の「JAカード」・「JAカード（一体型）」を是非ご利用下さい。  
**その1 年会費がお得!**  
**初年度年会費無料(ゴールドカードは除く)**

・一般カードの次年度年会費は、本人会員1,312円(税込)、家族会員4,200円(税込)  
 ・ゴールドカードは、初年度より本人会員10,500円(税込)、家族会員 無料

次の①～③のいずれかに該当すれば、次年度年会費も無料

「ゴールドカードは除く」

\*ただし、ロードアシスタンスサービス付カードの場合、ロードアシスタンスサービス年会費4,720円(税込)のみ次年度より別途がかかります。

①年間12万円以上のカードショッピング利用

②電気料金のJAカード支払い(注一)

③携帯電話料金のJAカード支払い(注二)

(注一)クレジットカード支払いは、口座振替割引52.5円(税込)が適用されませんのであらかじめご了承ください(北海道電力、東北電力、沖縄電力では口座振替割引はありません)。  
 (注二) NTTドコモ、au、ソフトバンク、ウィコム、イー・モバイルが対象となります。

**その2 JAならではの「JAカードオリジナル特典」**

JA・SSでJAカードをご利用いただきますと、2円/比割引!

(平成22年3月31日ご利用分まで)

\*一部対象とならないJA・SSがあります。詳しくはご利用いただくJA・SSにてご確認ください。

\*割引はハイオク・レギュラーガソリン・軽油が対象となります。カードご利用代金口座引き落としの際に、割引した額による引き落としとなります。ご利用代金請求書にてご確認ください(ご利用代金請求時には、割引前・割引後それぞれの値段が表示されます)。

**その3 安心の海外旅行傷害保険サービスが自動付帯**

海外旅行中の病気やケガはもちろん、カメラ等の携行品が破損した、あるいはホテルのカーペットを汚してしまった場合の損害賠償にも適用される安心サービスです。

\*海外旅行傷害保険は、ご入会日以降に出発される海外旅行より自動付帯となり、ご旅行のつご適用されます。また、補償期間は、一旅行(日本出発から帰国まで)あたり最長90日間です。

その他多彩なサービスが満載!!

JAカードについて詳しくは、お近くのJA窓口までお問い合わせください。



電話で気軽に、健康と介護のアドバイス

JA共済の健康・介護ほっとライン

◆こんな相談が寄せられています◆

- ・血圧のことが気になる。
- ・子どものアトピーを何とか和らげたい。
- ・いま飲んでる薬について教えてほしい。病院では聞きにくくて。
- ・介護をしていて不安なことが色々ある。どうしたらいいのか…話を聞いてほしい。

JA共済では、健康や介護、育児についての悩みごと、気になることを看護師や介護支援専門員、医師などが直接電話でお答えする電話サービスを実施しています。

生活習慣予防や肥満などの生活全般の健康相談、医療機関の情報提供、介護リハビリなどのご相談を、経験豊かな専門スタッフがフリーダイヤルでお受けします。医師(精神科・診療内科を除く)による専門的な相談も利用期間内であればいつでもお受けします(予約になる場合もあります)。

また、お名前はお伺いしませんので安心してご相談いただけます。お気軽にご利用ください。

◆安心の4つのポイント◆

1. 相談料・通話料とも無料です。
  2. お名前はうかがいませんので、プライバシーが守られます。
  3. 経験豊かな看護師や介護専門員(ケアマネージャー)がお答えします。
  4. 医師(精神科・心療内科を除く)による専門的な相談も利用期間内であればいつでもお受けします。
- ※予約になる場合もございます。



ほっとちゃん

電話相談サービス

フリーダイヤル 0120-481-536

シワセイチバン コンサルタント

利用時間 月～金曜日(祝日を除く) 午前9時～午後8時

料金	相談料、通話料とも無料
健康・介護相談員	看護師、介護支援専門員(ケアマネジャー)
専門相談員	医師(精神科・心療内科を除く)

※携帯電話やPHSからもご利用になれます。  
 ※お名前は伺いしませんので安心してご利用いただけます。

「超音波検診のすすめ」

皆様は年に1回の健康診断を受診されていますか？JA熊本厚生連では、各種健康診断を実施しておりますが、今回は超音波検診についてご紹介します。

超音波検診とは、プローブと呼ばれる装置を体にあて、臓器の形や組織の状態によって返ってくる反射波を受信することによって、断面像を画像化して診断を行います。また、受診者にとって安全で苦痛がなく、繰り返し検査を行うことができます。

本会では、腹部超音波と乳房超音波の2種類の検査を実施しています。腹部超音波検査では主に、肝臓・胆のう・膵臓・腎臓・脾臓の5臓器を対象とし、ガスや脂肪などの条件がとこのえば、子宮・卵巣・膀胱・前立腺・大動脈等も観察することができます。脂肪肝・肝のう胞・肝血管腫・胆石・胆のうポリプ・腎結石等の良性疾患はもとより、肝臓癌・胆のう癌・腎癌・膵臓癌等の悪性腫瘍性病変についても自覚症状や血液検査の異常が出現する以前に見つけ出すことが可能です。乳房超音波検査では、触診では分かりにくい数ミリ単位の腫瘍を見つけたことができます。

平成19年度は、本会で約4万3千人の方が腹部・乳房超音波検診を受診さ

れました。その中で、約1.5%の方は病院での精密検査が必要となっております。また、精密検査を受けられた方の中で、40例の悪性疾患が発見されました。

検診を受診して要精密検査の判定されても、病気と診断されたわけではありませぬので、早めに病院を受診しましょう。

健康診断は、一つの検診項目だけでは全体を調べることはできません。超音波検診だけではなく、他の検診も併せて受診し、それぞれの検診結果をもとに、健康維持・生活改善に努めましょう。

JA熊本厚生連

臨床検査技師 川内 友美



あじがき

● 早春の頃、沈丁花のいい香りが一面に漂い始めます。後に、いい香りが残るような仕事を心がけたいいものですね。



三月に咲く花【沈丁花】

ジンチヨウゲの名は、香木の沈香（ジンコウ）のようないい匂いがあり、丁子（チヨウジ）のような花をつけることから呼ばれています。

室町時代に大成されたものに茶道、華道、香道があり、貴族（文化人）のたしなみとされてきました。

因みに、沈香は東南アジアのみ産出する天然の香木であり、正倉院にある国宝の沈香「蘭麝待（らんじやたい）」を削った証拠として足利義政、織田信長、明治天皇の名前が残されています。

（花こぼ） 栄光  
ジンチヨウゲ科／常緑低木／中国南部

● 盟友の皆様のご意見や 周辺地域の話題、写真等、各地区の総支部・支部（JA本・支所）へお寄せいただければ幸いです。

連絡先 熊本県農政連

電話 096-3280-12804  
FAX 096-3260-58007

**JA共済**

JA共済と、もっと仲良くなってください。

「ひと・いえ・くるま」の保障をまとめる「しあわせ夢くらぶ」。うれしい特典が、もりたくさん！

プラス割引 共済掛金がおトクに  
しあわせ特典 施設利用やお買い物などの優待割引

JA共済 しあわせ HAPPY & DREAM CLUB 夢くらぶ

詳しくは、JA共済ホームページ (<http://www.ja-kyosai.or.jp>)、またはお近くのJA（農協）へ。  
■みんなにサンキューキャンペーン実施中！ <http://www.3cja.jp>

08481050157

**JAバンク熊本**

「よあー!!」

JAバンクへ!

総合口座  
定期積金  
JAカード  
給与振込